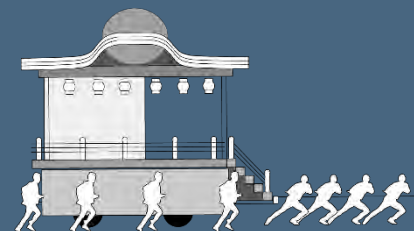




上町ミライプロジェクト 第3回座談会



2025(令和7)年6月28日(土)



1. 開会

あいさつ(秩父市笠原部長、江野町会長)

2. 第2回座談会・第2回協議会 結果報告

3. 今後のまちづくりのテーマ(意見交換)

4. 大島先生による講評

5. 今後の予定など連絡事項

6. 閉会

2. 第2回座談会・第2回協議会 結果報告

第2回座談会

【日時】

令和7年3月14日(金)19:00～20:30

【開催場所】

上町公会堂

【参加者】

19名

上町の大きな地図を見ながら、普段行っている活動や、今後やってみたいことなどを地図上にプロットしながら話し合いを行いました。

上町地区の現状と将来像、まちづくり方針に関する話し合い 主な意見



矢尾百貨店の蔵は常時、公開されているは入れるたら良い。また、上町の歴史を学習できるように、古い写真を展示できたらよいのではないかな。

小学校周辺は、樹木を残しながら緑を楽しめる空間やひと休みできるポケットパークなどがあると良い。上町大通も休憩できるポケットパークがあれば良いのではないかな。



街かどギャラリーや押堀川親水公園は、外部からの来訪者も多いので、駐車場がもう少しあればよいのではないかな。親水公園は、クレソンとかを植えて、一年中楽しめる空間にしてはどうか。



松本教室では、子どもの学習塾のほかに、大人も学べる知的な場所として活用でき、多世代で交流できる場にできたらよいのではないかな。



空き家などを活用して、着物(秩父銘仙など)の展示会場にできたらよいのではないかな。



第2回協議会

【日時】

令和7年6月13日(金)14:00~16:00

【開催場所】

歴史伝承館 研修室

第1、2回座談会でのご意見なども踏まえ、地区の現状・課題を整理した上で、上町のまちづくりの将来像や方針について議論いただきました。

まちづくりの
将来像

**歴史・風土・人が織りなす
『上町らしい』暮らし・にぎわい・景観が
深まるまちづくり**

上町らしい暮らし

- 自然に囲まれた良好な住環境、文教地区としてのたたずまい、高い生活利便性が享受できる暮らしを送っている

上町らしいにぎわい

- 商業的な活気のほか、活発な住民の活動・交流により、日常的にまちに人が出ていて、多様な活動・交流へとつながっている

上町らしい景観

- 歴史や風土（地形、水と緑、土地利用、街並み、人々の暮らし・活動など）が「見える形」として表れている

まちづくりの基本方針

上町らしい暮らし

- 質の高い住環境をより高める
 - ・空き地、空き家を活用し条件の悪い敷地を改善、暮らしやすい住環境を構築し、新たな住民を呼び込む
- まちの安全性を高める
 - ・狭小道路、既存不適格物件の改善、耐震化・不燃化
 - ・緊急輸送道路、延焼遮断帯として大通りの機能拡充
 - ・危険な塀を生垣・柵などに変える
 - ・擁壁を適切に維持管理する
- 公的機関との連携を深める
 - ・公的機関との地域連携を推進
 - ・学校へのアクセスを改善

上町らしいにぎわい

- 交流したくなる場をつくり、使う
 - ・多様な世代が交流する場所をつくり、参加する
- コミュニティを次代に受け継ぐ
 - ・町会活動に主体的に関わりその活動を広げていく
- 歩きたくなる道に仕立てる
 - ・植栽、街路灯、『どこいくべえ』などのストリートファニチャーで道路を飾る
 - ・道に名前をつける
- 観光客・関係人口を増やす
 - ・聖人通りを通じて秩父地方庁舎（北）交差点から上町方向へ来訪者を誘導する

上町らしい景観

- 暮らしの風景を見つけ残していく
 - ・歴史ある建築物を活用し次世代に受け継ぐ
 - ・井戸端・縁側・土間などで歴史ある風景を再現、想起させる
 - ・武甲山など周囲の山並みへの眺望を確保する
 - ・河成段丘面の自然を保全し秩父らしいみどりを守る
- にぎわいを可視化する
 - ・まちのシンボルとなる場所をつくり、演出する
 - ・秩父往還、屋台・笠鉾が映えるまちなみを作る

今後のまちづくりのテーマ

①歩いて楽しめる
まちなか交流拠点の形成
とネットワーク化

歴史的建物の活用、既存施設の
活性化リニューアル

②矢尾交差点は
秩父のタウンコア

祭りの舞台、駅からの人の流れ、
西関東自動車道との接続等

③既存交通・歩行動線の
再検討

通学路、図書館動線、矢尾交
差点の右折渋滞の解消、歩道
回りの安全対策等

④文教地区・住宅地区
既存の文教施設の活性化
子育てしやすいまちへ

⑤祭りと生活を両立した
道路空間

植栽と歩道、車寄せ、信号、
手すり、街灯等及び祭りをデ
ザインモチーフに

⑥歴史あるコミュニティ
と若者や移住者との連携

伝統的なコミュニティに参加
を促す開かれたまちづくり

⑦交通拠点に近接した立
地

を生かしたまちづくり
主要交通機関である西武秩
父駅及び御花畑駅が徒歩圏

⑧空き地・空き家の活用

人口減少によって出現した
空きスペースの積極活用

3. 今後のまちづくりのテーマ

これまでの座談会・協議会などの結果にもとづき再整理した『今後のまちづくりテーマ』について説明します。

その後、参加者の皆様から各テーマに関する質問や、各テーマを実現するためにどのようなことが必要か・やってみたいかなどについてお聞きます。

質問や意見交換を通じて、8つのテーマの考え方などについて共有・確認したいと思います。

3. 今後のまちづくりのテーマ

①歩いて楽しめるまちなか交流拠点の形成とネットワーク化

まちなか交流拠点

○上町で日常生活を送る中で、ふと休みたくなったり、近所の人と気軽にしゃべりしたりできる、ちょっとした空間。

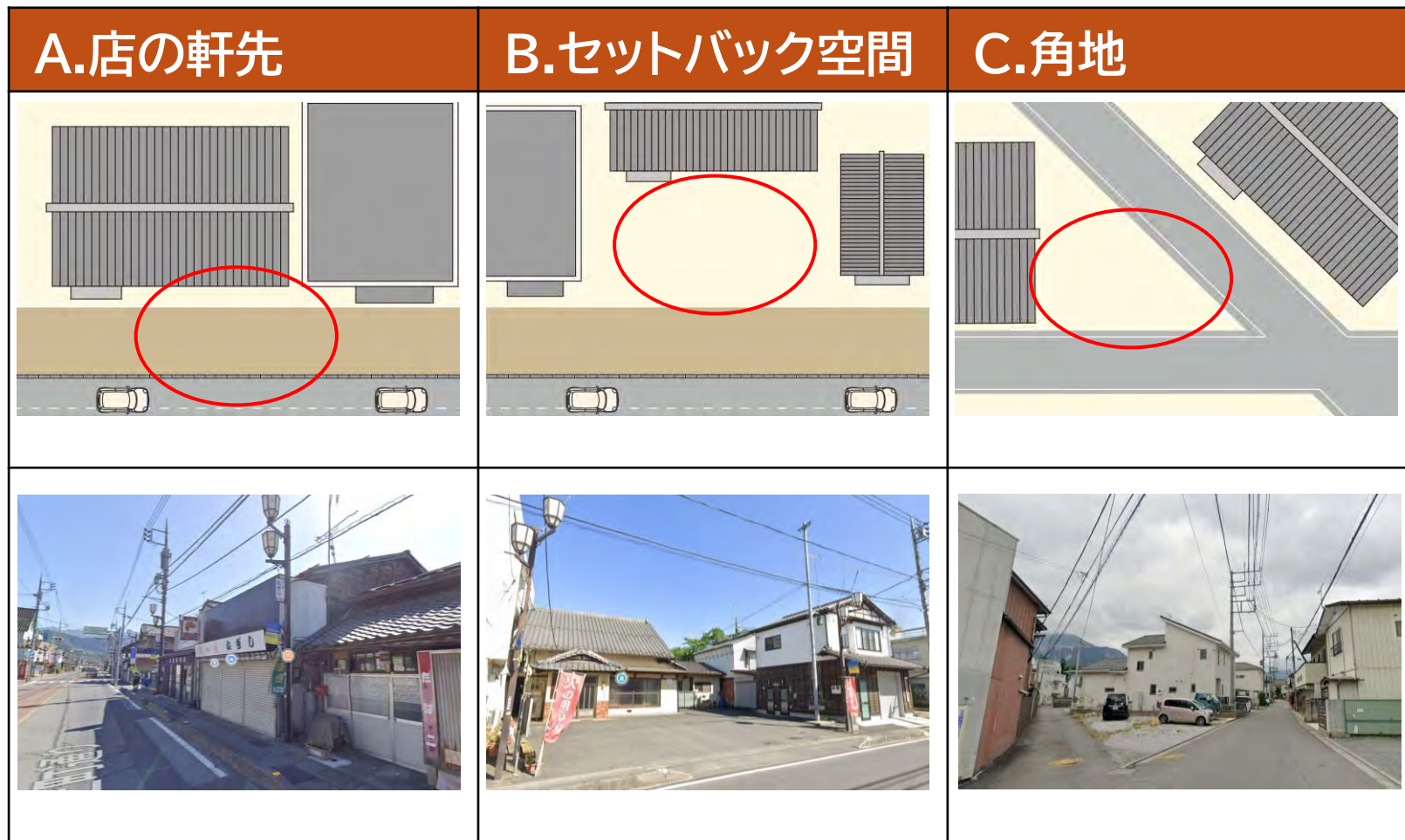
これまでの検討や座談会でのご意見

- ◇地区全体に休める場所が点在していると良い。
- ◇上町大通りにポケットパークを設置。
- ◇商店の軒先にベンチがほしい。店先での何気ない雑談も大切。
- ◇店先のベンチでカップラーメンを食べる学生を見かける。
- ◇もっと立ち話できる場所がほしい(ローソンなど)。
- ◇武甲山への眺めの良い場所に休める場所をつくれば、交流の場になる。
- ◇公会堂、ギャラリー、防火水槽(図書館の裏手にある)、大木の下、コインランドリーも「いどばた」的空間である。公会堂でマルシェをしたい。
- ◇古民家をコミュニティの場として活用したい。
- ◇上町公会堂と街かどギャラリーは用途を交換しても良いのではないか。

3. 今後のまちづくりのテーマ

①歩いて楽しめるまちなか交流拠点の形成とネットワーク化

まちなか交流拠点(屋外)のイメージ例



3. 今後のまちづくりのテーマ

②矢尾交差点は秩父のタウンコア

タウンコア

○まちの中心と感じさせるシンボル性のある場所

例えば、人が集まる場所、モニュメントなどがある場所 等

これまでの検討や座談会でのご意見

◇矢尾百貨店前の交差点はまちのシンボルとなる場所。

沿道に開けた設えにすると人の流れを誘導する。

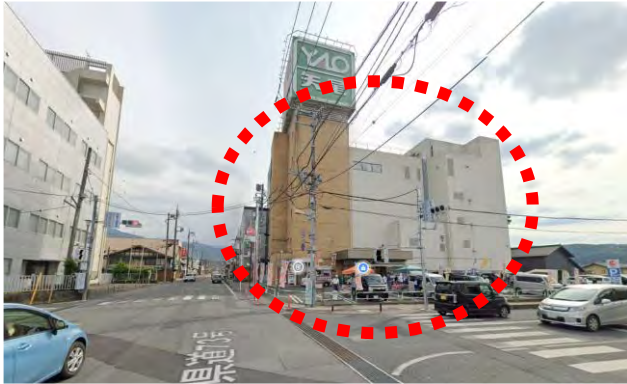
◇矢尾百貨店前の交差点は夜祭の象徴的な場所(屋台のギリ回し)であり、秩父市全体にとっても重要な場である。

◇矢尾百貨店に残る蔵やお社など、上町の歴史を発信する拠点になる。

◇蔵の近くに店舗などにぎわい空間があると良い

3. 今後のまちづくりのテーマ

②矢尾交差点は秩父のタウンコア



上町大通り検討デザイン(上町大通り各事業等検討会議)



3. 今後のまちづくりのテーマ

③既存交通・歩行動線の再検討

これまでの検討や座談会でのご意見

- ◇安全な歩道は必須、大通り以外はグリーベルト
- ◇主要道路交差点に左右折レーン
- ◇安全が優先された通学路などの歩行者空間が不可欠
- ◇安心して散歩できる道路になると良い
- ◇斜めの道や開けた場所から武甲山や二子山が見えるのが特徴的。
- ◇元禄通り(あいの道)や図書館通り、花の木小の道など後背地の細街路についても通りごとに名称を付けたら良い。

3. 今後のまちづくりのテーマ

③既存交通・歩行動線の再検討

プランターにより車のスピード
抑制を行っている例



倒壊しやすいブロック塀から
フェンスに変更した例



愛称が付けられた道路の例



3. 今後のまちづくりのテーマ

④文教地区・住宅地区

これまでの検討や座談会でのご意見

- ◇図書館でもっと地域のことを学べる講座などが開催されると良い
- ◇街かどギャラリーで発表、展示をしたい。学生の発表の機会もできると良い
- ◇図書館を上町大通りから象徴的に見せることが必要。
- ◇小学校やスポーツ交流広場を世代を超えた交流の場にする。

- ◇通りに面した場所や軒下、門の前に置いているプランター緑化をもう少し頑張っても良いのではないか。
- ◇道路から見える民家の庭の花や緑の植栽が良い。
- ◇小学校と秩父高校の間の水路跡に生垣、桜並木などがあり、みんなで手入れしながら残していきたい。

- ◇住んでいて活気があるまちにしたい。
- ◇商店が減り、歩行者も少なく活気がなく夕暮れから暗く感じる

3. 今後のまちづくりのテーマ

④文教地区・住宅地区



図書館での市民講座、
ギャラリーでの展示の例

プランターによる道路
植栽、住民による維持
管理の例



3. 今後のまちづくりのテーマ

⑤祭りと生活を両立した道路空間

これまでの検討や座談会でのご意見

- ◇夜祭、川瀬祭にふさわしい情緒のある道路、街並みにしたい
- ◇隣接する中町通りや影森通りとの連続性を重視すべき
- ◇上町大通りの沿道にプランターなど植栽を置いて華やかにできれば良いのではないか。
- ◇ウォーキングは身近な歩道が一番
- ◇電動カートが安全に通れる歩道が必要

3. 今後のまちづくりのテーマ

⑤祭り与生活を両立した道路空間

上町大通りの前後区間の様子

影森・・・・・・・・・・(上町)・・・・・・・・・・本町



街路樹や植栽帯による
緑豊かな道路空間



歴史的な町並みと調和する
すっきりとした道路空間

3. 今後のまちづくりのテーマ

⑤祭りと生活を両立した道路空間

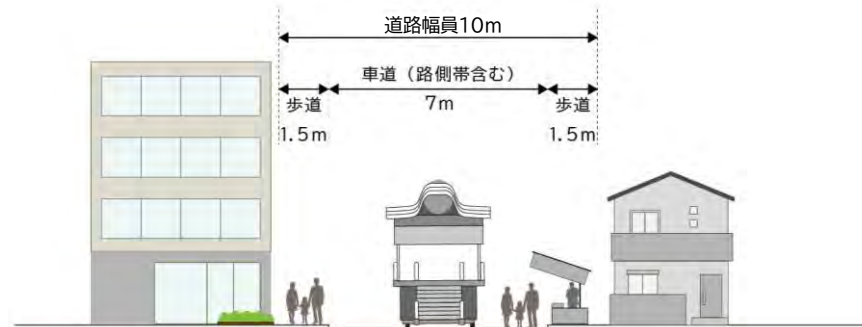
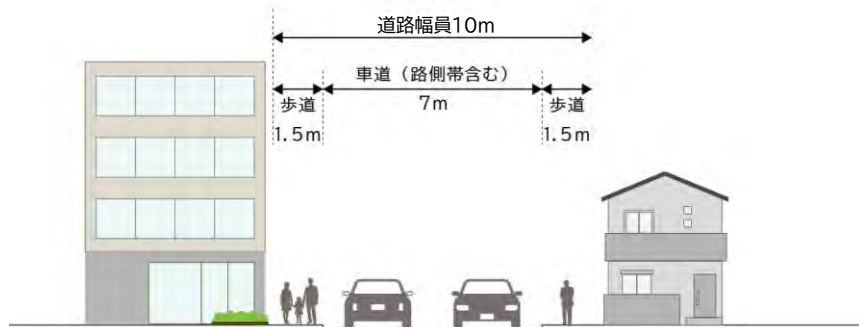
現在と道路拡幅後の上町大通りのイメージ

日常時

祭り時

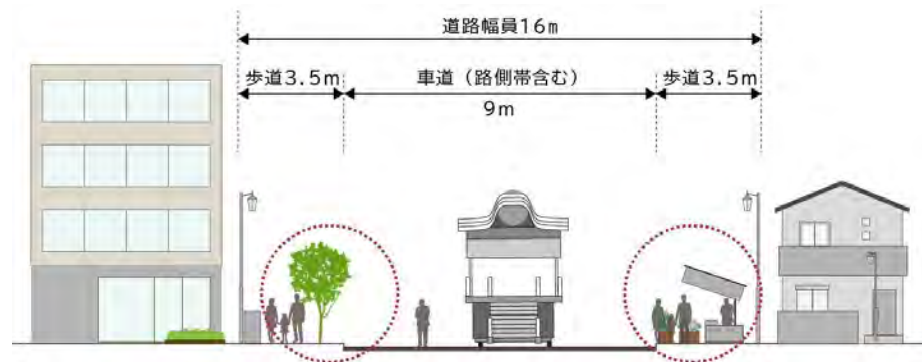
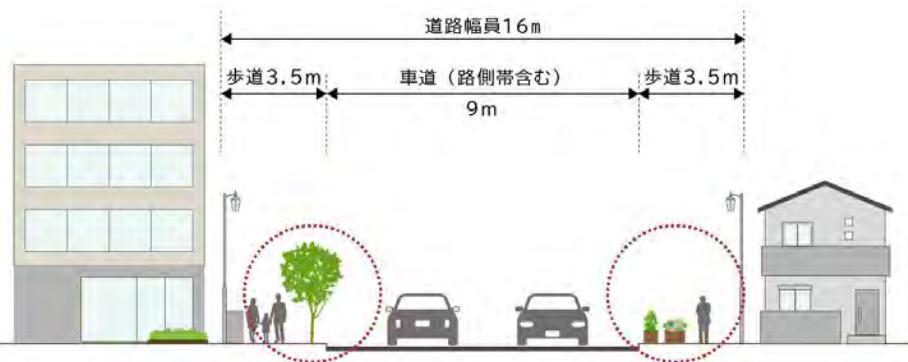
現在

・歩行者空間が十分に確保されていないため、安全面に問題がある



整備後

・沿道にみどりを配置することで、沿道にうるおいが生まれ、日常を楽しむことができる



3. 今後のまちづくりのテーマ

⑤祭りと生活を両立した道路空間

上町大通り整備後の祭りのイメージ

屋台曳行は車道、出店は歩道

歩道に街路樹があってもその間に店を出すことは可能



3. 今後のまちづくりのテーマ

⑥歴史あるコミュニティと若者や移住者との連携

これまでの検討や座談会でのご意見

- ◇上町公会堂は、町会の集まりで良く利用する
- ◇地区の人による秩父高校への出前講座などできると面白い
- ◇地区内の農地を子どもが遊べる場や交流の場にできると良い
- ◇三階松本を大人塾など学びと交流の場として活用できないか
- ◇秋葉神社の神事にもっと参加したい

- ◇高校生にも地域の行事、イベントに参加してもらいたい
- ◇住んでいて活気ある町にしたい
- ◇若年層が住める環境整備等が必要

3. 今後のまちづくりのテーマ

⑥歴史あるコミュニティと若者や移住者との連携

高校への出前講座の例



農地内の遊び広場の例



住宅地のちょっとした場(店舗)が活気を生んでいる例



高校生による屋台曳行のお手伝いの例



3. 今後のまちづくりのテーマ

⑦交通拠点に近接した立地を生かしたまちづくり

これまでの検討や座談会でのご意見

◇あいの道などあるので駅からの案内サインがあれば良い。



3. 今後のまちづくりのテーマ

⑧空き地・空き家の活用

これまでの検討や座談会でのご意見

- ◇空き家を活用して地域の学生と交流できる場が作れると良い。
- ◇空き家をコミュニティカフェ、高齢者の食事会が開ける場などに活用できると良い。
- ◇古民家を活用して、銘仙や着物を展示できたら良い。

古民家を活用した交流、展示などの例

